

日本生体医工学会 平成 26 年度 第 3 回理事会 議事録

日時： 平成 26 年 8 月 1 日 14 時～17 時

場所： AP 東京八重洲通り 11 階 O ルーム

出席者

理事長	副理事長		理事																監事		幹事		
佐久間 一郎	野村 泰伸	山家 智之	石原 謙	伊関 洋	大城 理	大須賀美恵子	木村 裕一	楠岡 英雄	椎名 毅	砂川 賢二	田村 俊世	中沢 一雄	橋爪 誠	増山 理	松田 哲也	松村 泰志	村垣 善浩	山森 伸二	吉田 正樹	阿部 裕輔	牧川 方昭	植野 彰規	花房 昭彦
○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×

第 5 4 回大会長	第 5 4 回事務局長	北海道支部長	東北支部長	甲信越支部長	関東支部長	東海支部長	北陸支部長	中国・四国支部長	九州支部長
岩田 彰	小栗 宏次	清水 孝一	松木 英敏	小林 俊一	福井 康裕	平井 真理	中村 真人	木内 陽介	樗木 晶子
×	×	×	×	×	×	×	○	○	×

配布資料

- 26-3-2-① 平成 26 年度第 1 回理事会 議事録
- 26-3-2-② 平成 26 年度第 2 回理事会 議事録
- 26-3-3 平成 26 年度第 3 回理事会入退会審査対象者
- 26-3-4 平成 26 年度会務分担
- 26-3-5 平成 26 年度広報委員会
- 26-3-6 平成 26 年度国際委員会
- 26-3-7 平成 26 年度医用生体工学研究基盤検討委員会
- 26-3-8-① ME 技術教育委員会新委員 (案)

- 26-3-8-② 第20回第1種 ME 技術実力検定試験結果報告
- 26-3-9 平成26年度クリニカルエンジニアリング委員会
- 26-3-10 平成26年度 ME 研究推進委員会
- 26-3-11 平成26年度医学科 ME 教育 WG
- 26-3-12 平成26年度教育委員会
- 26-3-13 平成26年度選挙実施スケジュール (案)
- 26-3-14 平成26年度選奨委員会
- 26-3-15-① 平成26年度生体医工学科連絡委員会 名簿
- 26-3-15-② 平成26年度生体医工学科連絡委員会 報告事項
- 26-3-16 日本生体医工学会専門別研究会協議会
- 26-3-17-① 平成26年度定款改定 WG 構成メンバー
- 26-3-17-② 理事・監事および代議員選挙規程
- 26-3-17-③ 公益申請の準備スケジュールについて
- 26-3-18-① 平成26年度編集委員会
- 26-3-18-② 2014年7月末での編集の状況及び検討点
- 26-3-19 平成26年度利益相反委員会
- 26-3-21 第53回日本生体医工学会大会 参加人数報告
- 26-3-23 他団体との後援・協賛状況
- その他 「第20回第1種 ME 技術実力検定試験筆記試験問題」

議事

1. 理事会の成立確認 (大城理事)
成立要件を満たしていることを確認し、開会を宣言した。
2. 議事録確認 (大城理事) : 資料 26-3-2-①, ②
 - 議事録を確認した。
 - 第2回理事会の開催日を訂正した。
誤) 6月23日
正) 6月24日
 - 今後の理事会開催日時を確認した。
10月31日(金)、14時～、八重洲
1月16日(金)、14時～、八重洲
3月13日(金)、14時～、八重洲
 - 公益申請の関係で、理事会の追加開催の可能性について言及があった。
3. 入退会状況の件 (大城理事) : 資料 26-3-3
 - 滞納者への対応について検討した。

- 2年以上の滞納者への対応について事務局が文章を起こし、メール審議することとした。
- 滞納者への対応について、以下の一次案が提案された。
 - 当該年度と前年度分の会費を払って頂くことで会員とする
 - ただし、滞納分を完済しなければ選挙権と大会時の会員登録料の適用は行わない
 - 理事からも働きかける
 - 滞納者への対応を記録に残す
- その他、以下の意見が述べられた。
 - 公益法人になると入退会に条件を付けてはいけない
 - 徒労に終わっている過去の経緯を今日呂氏、自動除名にしてはどうか
 - 幽霊会員の中には、自身は非会員であると認識し、専門別研究会で謝金・旅費を貰っている方もいる

4. 会務分担（佐久間理事長）：資料 26-3-4

資料の通りに承認された。

5. 広報（野村理事）：資料 26-3-5

- 委員案が承認された。
- 松村委員の名（漢字）を確認し、誤記である場合には訂正することとした。
 - 誤) 松村泰史
 - 正) 松村泰志

6. 国際（砂川理事）：資料 26-3-6

- 委員案が承認された。
- 委員の所属について確認し、必要がある場合には修正することとした。
 - 椎名委員： 東大・院・工学系研究科 → 京大・院・医学系研究科
 - 神保委員： 東大・院・新領域 → 東大・院・工学系研究科
- Young Investigator Fellowship のための積み立てについて説明があった。

7. 医用生体工学研究基盤検討（山家理事）：資料 26-3-7

- 副委員長に石原理事が加わることとした。
- 上記以外は、委員案が承認された。
- 石原理事の会務分担（将来計画、ME 技術教育）と重なる部分もあるため、山家理事と石原理事とで相談し、当該委員会の検討項目について提案することとした。
- 佐久間理事長、阿部監事より委員会について過去の経緯や設置趣旨等が説明された。
 - 生体医工学研究所、生体医工学フォーラム、日本学術会議との関係
 - 全体の底上げや医療機器推進の政府方針と絡めて、何か仕組みが必要か

- 課題等を踏まえ各理事から意見を集めることとした。
8. ME 技術教育（石原理事）：資料 26-3-8-①, ②、第 20 回 1 種 ME 実力検定試験問題
- 委員案が承認された。
 - 第 20 回 1 種 ME 実力検定試験の経過が報告され、合格者案が承認された。
 - 試験の運用形態や現状の問題点等について説明があった。
 - 次回（あるいは次々回）の理事会で島津委員長に状況を説明いただくこととした。
 - 第 20 回 1 種 ME 実力検定試験の問題難易度について、良否の確認依頼があった。
9. CE（石原理事）：資料 26-3-9
- 委員案が承認された。
 - 委員の所属について確認し、必要がある場合には修正することとした。
 - 議題 8 と併せ、次回（あるいは次々回）の理事会で島津委員長に活動状況を説明いただくこととした。
10. ME 研究推進：資料 26-3-10
- 委員案が承認された。
11. 医学科 ME 教育 WG（石原理事）：資料 26-3-11
- 委員案が承認された。
 - 「医師のための教科書がない」との指摘を前会長から受けている旨の説明があった。
12. 教育：資料 26-3-12
- 委員案が承認された。
 - 本年度実施されたサマースクールについて説明があった。
 - サマースクールの目的や予算措置、過去の活動概要が説明された。
 - 以下の問題点が挙げられ、吉田理事から大須賀担当理事に伝えることとした。
 - 第 1 回、第 2 回の資料がない
 - Web が切れており、学会としての活動記録が不完全である
 - 学会としてガイドラインがない
 - 本学会からの予算だけでの運営は困難で、複数学会からの予算を得ている
 - スクーリングの自律性と学会としての整合性どうするかが不明確である
13. 選挙管理
- 委員案が承認された。
 - 実施スケジュール案が承認された。

1 4. 選奨委員会（村垣理事）：資料 26-3-14

- 委員案が承認された。
- 応募総数が少ないなどの問題もあることを確認した。
- 東レ科学財団などの学会推薦が必要な助成金の取り扱いについて、以下の点が決定した。
 - 事務局が学会ホームページの助成金の欄に掲載する
 - 選奨委員長の村垣理事が会員宛にメーリングリストを流す
 - 推薦がなかった場合は、委員長が推薦する
- 各賞の財源に関して説明があり、阿部監事より提案が述べられた。
 - 荻野賞は後日入金される
 - 他の賞は会費から賞金をだしている
 - 事務局を維持する予算も会費からだしている
 - 積立金が少ない
 - 積立を増やし、積立金を原資に賞を運用する方向で検討してはどうか

1 5. 生体医工学科連絡委員会（吉田理事）：資料 26-3-15-①, ②

- 委員案が承認された。
- 委員会設置の経緯と趣旨が説明された。
- 第1回委員会の内容が報告された。
- 学会と共通する課題を確認した。

1 6. 学術（吉田理事）：資料 26-3-16

- 専門別研究会協議会について報告があった。
- 専門別研究会が企画・開催した年次大会でのオーガナイズドセッション（OS）の取り扱いについて、議論がおこなわれ、以下の方針が決定した。
 - ガイドラインを作成する（人工臓器学会のガイドラインを参考にする）
 - 10月31日の理事会で取り扱いを決定する
 - 以下を原案とする
 - ◇ 年次大会とは別の機会において研究会を1回以上実施した場合には、年次大会中のOS開催を専門別研究会の活動1回分として認める
 - 年次大会で専門別研究会がOSを実施する場合の、参加費の問題を整理する（非会員への参加費補助は認めらない）
 - 専門別研究会および支部における費用の取り扱い基準について、吉田理事が事務局と相談し規程原案を練る
 - 会計に関する本部側の課題については、公認会計士に問題があるか確認して貰う
 - 会計に関する専門別研究会側の課題（1月々、2月・3月仮払い）についても考える

- 理事会での決定後、「OS の取り扱い」と「お金の支払い方のガイドライン」をセットで、専門別研究会会長と次回大会長に連絡する
- 年次大会での、専門別研究会による OS の企画・開催を奨励する

1 7. 定款改定 WG（大城理事）：資料 26-3-17-①, ②, ③

- 委員案が承認された。
- 理事・監事および代議員選挙規程について、改訂案が承認された。
- 公益申請の準備に関連して、阿部監事より以下の説明があった。
 - 第 52 回日本生体医工学会大会の収支報告書が、コンベンション企画・運営請負業者から提出されていない
 - 第 52 回大会の収支報告書がないと、公益収支報告を内閣府に提出できないため、公益申請ができない
 - 2015 年 4 月 1 日の登記が難しくなっている
 - 第 52 回大会（IEEE EMBC2013 と併催）の全体決算書の 5%が、第 52 回大会の決算になる
 - 第 52 回大会に学会から助成金が出ている
 - 第 52 回大会の収支は黒字で、全体収益の 5%が学会の収入となる
- 公益申請の準備に関連して、会長名で依頼状をコンベンション企画・運営請負会社宛に送付することとした。依頼状の概要は以下の通りとする。
 - 学会は公益支出計画書を内閣府へ事前に提出している
 - 公益支出計画書に対する収支決算書を 2014 年 6 月に内閣府へ提出する必要があった
 - 公益事業の第 52 回大会分を記載できないため、内閣府に相談した
 - 相談の結果、2014 年 6 月に開催した学会総会にて承認された決算書を仮に提出し、その後速やかに正式版を提出する段取りとなっている
 - 第 52 回大会の決算報告書が提出されていないことが、学会に不利益を生じる恐れがあり、憂慮している

1 8. 編集（木村理事）：資料 26-3-18-①, ②

- 委員案が承認された。
- 編集状況及び検討点について、以下の報告があった。
 - 生体医工学シンポジウムの現況
 - 英文誌（ABE）の PubMed Central への収載に関して、初期費用や書式変更費用等の見積を次回理事会にて提示する
 - PubMed で ABE の論文が引用されているか確認し、報告する

19. 利益相反（石原理事）：資料 26-3-19

- 委員案が承認された。
- 以下の報告・説明があった。
 - 医学系は厳しくなっている
 - 指針は学会によって異なる
 - 日本医学会に準拠してはどうか、委員会で検討する
 - 伊関委員の所属を変更する
 - 村垣理事より脳外科学会の情報を提供いただく

20. ME 機器安全対策検討（佐久間理事長）

- 廃止すべきか議論が行われ、以下の意見があった。
 - ミッションがはっきりしているか不明確
 - ME 技術教育委員会と重複する内容もある
 - 強い意見ではないが、2015 年で阪神・淡路大震災から 20 年となるため、関連した活動を実施するなら残してもよいのではとの意見もある
 - クリニカルエンジニアリングで講習会を実施しているが、どこまでしっかりやっているか不明である
- 議案 8、9 に関連して、島津委員長（ME 技術教育委員会、クリニカルエンジニアリング委員会）から話を伺い、方向を決めることとした。

21. 第 53 回大会報告（山家理事）：資料 26-3-20

- 資料に基づき、大会報告が行われた。

22. 第 55 回大会（佐久間理事長）：

- 以下の説明と依頼があった。
 - 金沢での実施は難しいとの回答があった
 - 理事から非公式に状況を聞いて欲しい
 - 指名制を辞める
 - アクションリストを作成する

23. その他

- 研究基盤検討委員会に関連して、以下の検討課題が挙げられた
 - 学問としてどこを推進するか
 - 出口戦略をどうするか
 - ME1 種・2 種、大学・大学院での教育をどうするか
 - 生体医工学フォーラムの今後の方向性をどうするか（以下、出された意見）

- ◇ 昨年度は実施していない
 - ◇ 今年度は山家委員長に実施して貰ってはどうか？
 - ◇ 実施しないという選択もある
 - ◇ 学術会議との兼ね合いをどうするか
 - ◇ 折角やるのであれば、活性化に繋がるものがよい
 - ◇ 時期も含めて検討した方がよい
- 協賛企業一覧を回覧した